

第5章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2 m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16 mで、遺跡の範囲は南北360 m、東西160 m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2014年12月現在18ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土した。

本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

II ハケ遺跡第10地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2011年4月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南西端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を行った。

試掘調査は2011年4月22日に、幅約1 mと1.5 mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは30～40 cmで、時期不明の溝1本を検出した。遺物は出土しなかった。

溝は浅い「U」状で上幅178～208 cm、下幅152～176 cm、深さ6.8～14 cmである。

旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

III ハケ遺跡第11地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2011年4月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は第



第17図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)

10 地点の隣接地で。施工者も同じであるため、第 10 地点の調査に継続して行った。

試掘調査は 2011 年 4 月 21・22 日に、幅約 1 m と 1.5 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは 25 ～ 40 cm である。調査区全体に耕作による攪乱がみられたが、縄文時代の土器 1 点が出土した。

耕作による影響が大きく、縄文時代の遺構かどうか不明なため、調査を継続した。

【屋外埋蔵】(第 18 図 1 ～ 8)

縄文土器は、ローム層をピット状に掘り込んだ覆土層から破片の状態が出土した。ピット状の掘り込みは、平面形態は円形状を呈する。規模は確認面径 31

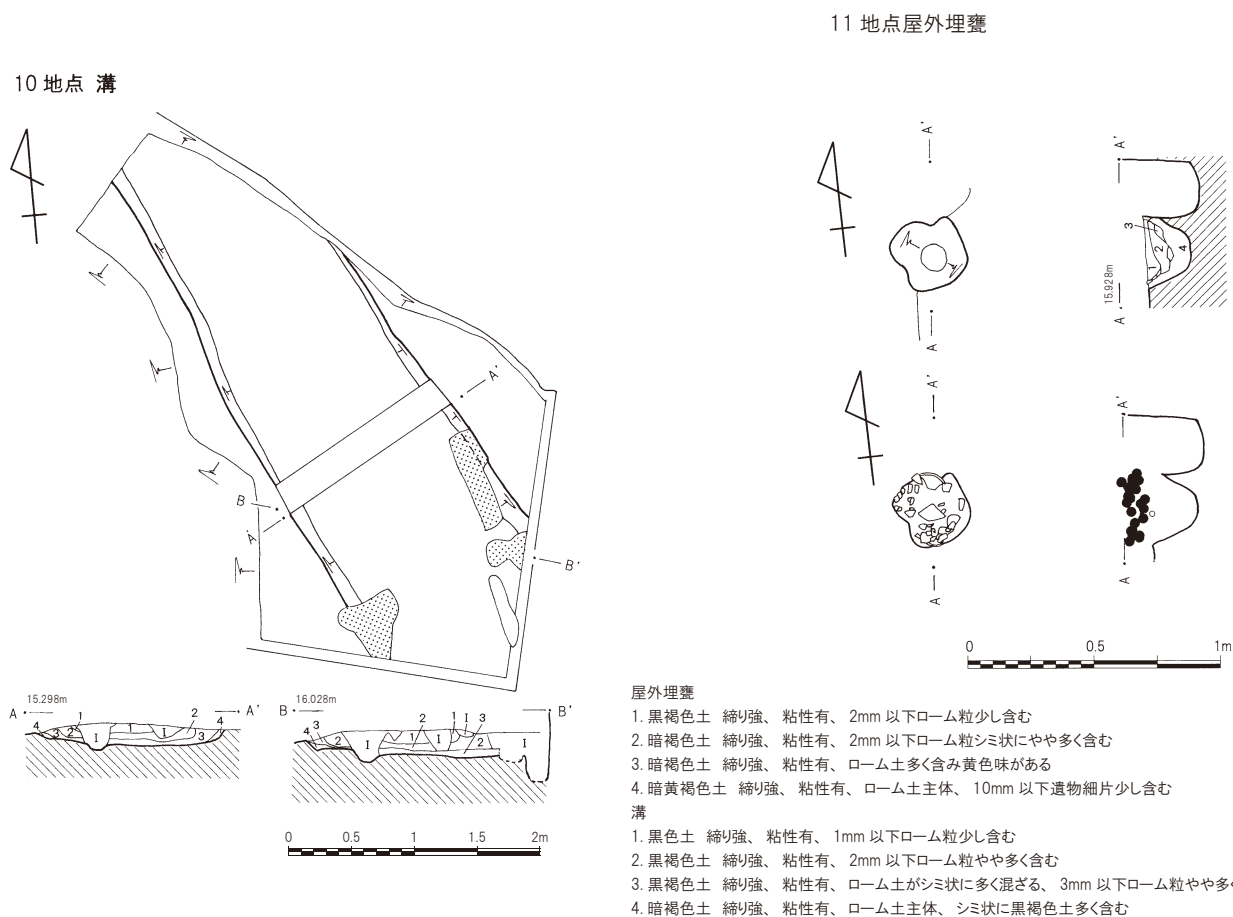
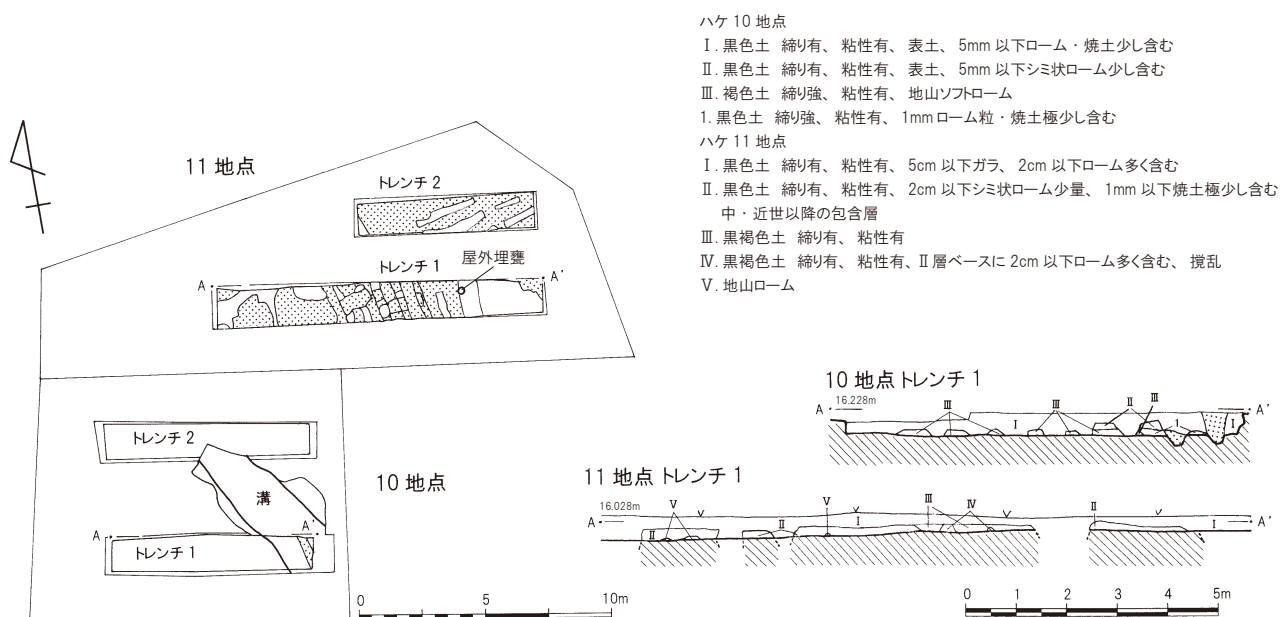
×31 cm、底面径 10×11 cm、深さ 20.7 cm である。

第 18 図 1 ～ 8 の土器は、埋蔵出土土器である。口縁部と底部は無く、胴部片のみである。全て同一個体で、地文 RL 縄文に、2 本組の沈線間を磨消す。加曽利 E II 式。

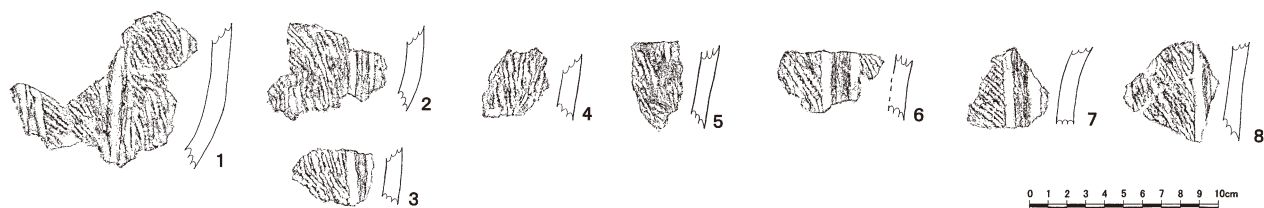
旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

第 12 表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡1軒、竪穴状遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480番地	1977.8.2～27	1794	宅地造成	縄文住居跡5軒、奈良平安住居跡2軒、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(I)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(I)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(II)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2068の1、2	1987.4.16～5.29	1900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11軒、奈良平安住居4軒、掘立1棟	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4軒、平安住居跡2軒	埋蔵文化財の調査(11)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1軒	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6 H3.1月末～継続調査 予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3軒	2年度教育要覧 市史資料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5軒、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22～25)	122.1	個人住宅	時期不明溝1本	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21～25)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵1基	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット	未報告
13	福岡3-1484-1	(2013.10.3)	183	個人住宅	地表面下150cm掘削するもローム確認されず、慎重工事	未報告
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし、慎重工事	未報告



11地点屋外埋甕



第18図 ハケ遺跡第10・11地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、溝(1/80)、埋甕(1/30)、出土遺物(1/4)



ハケ遺跡第 10 地点調査風景



ハケ遺跡 10 地点調査風景



ハケ遺跡 10 地点溝



ハケ遺跡 11 地点南側調査風景



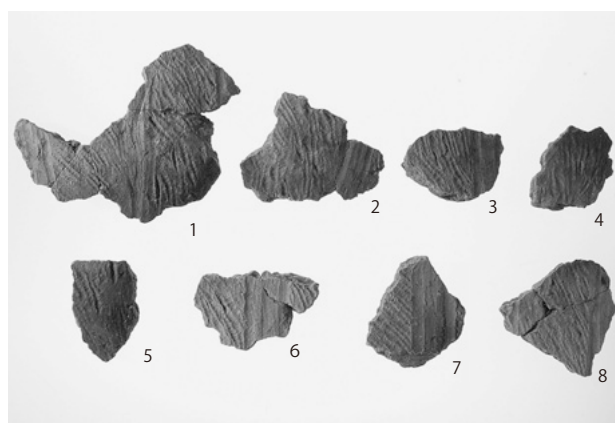
ハケ遺跡第 11 地点屋外埋甕 1 出土状況①



ハケ遺跡 11 地点屋外埋甕 1 出土状況②



ハケ遺跡第 11 地点屋外埋甕



ハケ遺跡 11 地点屋外埋甕出土遺物 No.1 ～ 8